

「脱いじめ」への処方箋

嶋崎政男【著】

A5判・定価2,300円（本体2,190円+税）送料290円 ※定価は5%税込価格です。

開発的・予防的危機管理
リスク・マネジメント

問題解決的危機管理
クライシス・マネジメント

再発防止的危機管理
ナレッジ・マネジメント

危機管理の3段階にそって、学校・教育委員会・教師が取り組むべき「いじめ対策」をQ&Aと図解で整理。いじめを許さない学校・学級づくりの指南書決定版！

対応チャート図、生徒指導全体計画図、いじめ発見のチェックリスト、保護者への報告文例、事故報告書例、都道府県別いじめ認知件数の推移……など、**すぐ使える資料を豊富に収録。**

各Q&Aは見やすい2ページ構成。

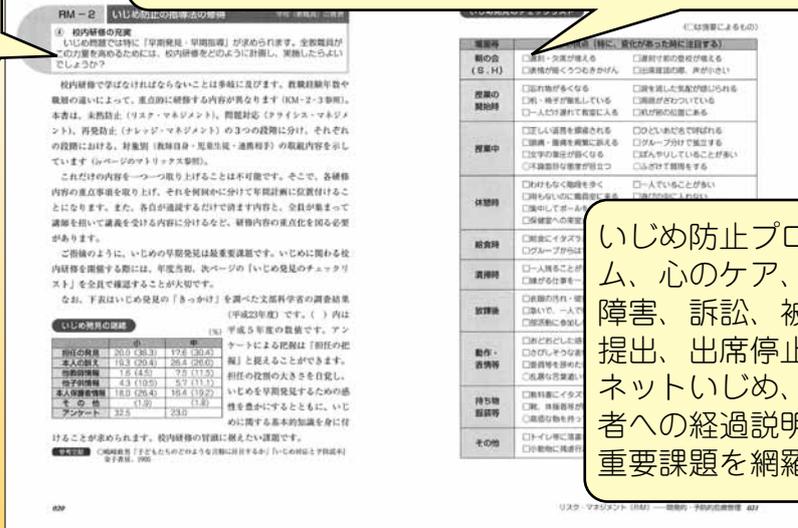
著者メッセージ

本書執筆の動機となったのは、またしても繰り返された中学生のいじめ事件への憤りです。今回の天津市の事件では、事故後の対応をめぐって学校・教育委員会批判の大合唱が起りましたが、未然防止（リスク・マネジメント）での不手際は全国の学校に共通するものです。それは、学校全体の「荒れ」た雰囲気の中では、反社会的行動をとるグループへの強制加入と適応偽装の強制が行われるという、過去の教訓が生かされなかったことです。

昭和55（1980）年に仲間4人から暴行・恐喝を受けた中学生の自殺事件では、両親が「4人から引き離す」よう教師に懇願していました。6年後（1986年）、「このままじゃ『生きゴク』になっちゃうよ」という遺書を残した中学生の自殺事件では、損害賠償を求めた裁判の二審判決で、おどけた振る舞いや笑い顔は「拒否的態度を示した場合に予想されるより激しいいじめを回避するための精一杯の防衛的対応」であったと断じました。

小川中事件（1985年）を追った佐瀬稔氏は、『いじめられて、さようなら』（草思社、1992年）の中で、こう書き綴っています。「この中学が荒れた戦場のありさまとなっていたことはまぎれもない事実である。次郎（仮名＝筆者注）は、その戦場を敗残兵の姿で彷徨していた」。

子どもが自らの尊い命を絶つという悲劇は何としても防がなくてはなりません。「敗残兵」として彷徨させてはなりません。誰一人として。本書がその小さな支えの一つになることを願ってやみません。



いじめ防止プログラム、心のケア、発達障害、訴訟、被害届提出、出席停止措置、ネットいじめ、保護者への経過説明など、重要課題を網羅。

きょうせい

「脱いじめ」への処方箋* 目次マトリクス

	学校(教職員)の責務	児童・生徒等への指導	保護者・地域・関係機関等との連携
RM リスク・マネジメント ——開発的・予防的危機管理	RM-1 いじめ認識の高揚 ① 「いじめ」議論の混乱 ② 「いじめ」の定義 ③ 「いじめ」の歴史 ④ 「いじめ」の実態 ⑤ 「いじめ」の種類 ⑥ 「いじめ」の影響 RM-2 いじめ防止の指導法の修得 ① いじめ防止の全校指導体制の確立 ② 個人の「いじめ防止力」の育成 ③ 集団の「いじめ防止力」の育成 ④ 校内研修の充実 RM-3 早期発見の力量向上 ① いじめに気づく心構え・手法 ② 観察力の向上・調査の活用 ③ 調査の効果的な実施法の修得 ④ 発達障害等への理解	RM-4 個人の「いじめ防止力」育成 ① 規範意識・自尊感情の向上 ② 人権意識・生命尊重の定着 ③ 情報リテラシー・モラルの育成 ④ 「自分を守る力」の養成 RM-5 人間関係の構築・集団育成 ① 「豊かな人間づくり」の推進 ② 「居場所」をつくる教育活動 ③ いじめ防止のプログラム RM-6 教師との信頼関係 ① 教師の基本姿勢 ② 学校教育相談の充実	RM-7 いじめ防止の啓発 ① 学校だより・ホームページを使った啓発活動 ② 地域団体等との連携・協働 RM-8 いじめ防止の諸活動 ① 人権擁護局等の事業 ② 人権団体等の取組 ③ いじめ防止法・条例の制定 RM-9 早期の情報提供・交換 ① 教育委員会等との連携 ② 校内外関係機関等との連絡体制の構築 ③ 学校間の連携
	CM-1 全校指導体制の構築 ① 全校指導体制の構築 ② 事例研究会による役割分担 CM-2 被害者の保護・支援体制の強化 ① 自殺の予防 ② 具体的支援策の策定と実施 ③ 二次的問題の防止 CM-3 いじめ指導の早期実施 ① 指導手順・方法の確認 ② 調査・聴き取りの留意点の確認 ③ 集団把握の方法の理解 ④ ネットいじめの留意点 CM-4 関係機関等との連携 ① エコマップの作成 ② 自殺の場合の調査実施	CM-5 被害者の保護・支援 ① カウンセリングの継続 ② 目に見える具体策の実行 ③ 自殺が起こった場合の対応 CM-6 加害者の指導 ① 責任を自覚させる指導 ② 集団内の人間関係を理解した指導 ③ 懲戒・責任遂行 CM-7 集団指導 ① 全校決議(撲滅宣言等) ② 学級(HR)での指導	CM-8 被害者保護者への対応 ① 「被害者の保護者への対応」の基本 ② 対応上の課題(被害届提出等の相談) CM-9 加害者保護者への対応 ① 「加害者の保護者への対応」の基本 ② 加害者の保護者との協議(謝罪・弁済等) CM-10 保護者対応 ① 臨時保護者会の開催 CM-11 教育委員会との連携 ① 出席停止の判断・進め方 ② 区域外就学・指定校変更の協議 ③ 事故報告書等の事務手続き CM-12 関係機関との連携 ① 警察等への通報・告発の判断 ② 関係機関との連携・協働 ③ マスコミ対応の基本
CM クライシス・マネジメント ——問題解決的危機管理	3×3のマトリクスでいじめ対応をわかりやすく体系化(このマトリクスは、本書巻頭に目次として収録しています)。学校・教委のいじめ対策の策定・実施に即役立つ内容構成!		
KM ナレッジ・マネジメント ——再発防止的危機管理	KM-1 振り返り・取組の総括 ① 教師の加担・助長の有無の確認 ② 学校が問われる法的責任 ③ マニュアルの見直し ④ 指導体制の再確認 KM-2 いじめ防止教育の位置付け ① 道徳教育への位置付け ② いじめ関連図書等の整備 ③ 教職員研修計画の立案 KM-3 事後処理 ① 訴訟への対応 ② 保護者の質問への責任ある回答 ③ 事故報告書のまとめと共有	KM-4 被害者への継続支援 ① 全教職員での見守り・心のケア ② 二次的問題への対応 KM-5 加害者への継続支援 ① 加害児童生徒の立ち直り支援 ② 補導・逮捕された子への対応 KM-6 全校一丸の取組の決定・実施 ① 防止委員会・ピアサポート等 KM-7 全校児童生徒対象の再発防止策 ① 法教育・命の教育等の推進 ② 特別活動のさらなる充実	KM-8 保護者・PTAとの連携 ① 再発防止策の策定・実施 ② 問題の経過説明 KM-9 教育委員会等との連携 ① 文科省通知・手引書、リーフレットの周知 ② 教育委員会との連携強化 KM-10 二次的問題の解決 ① 若者の自立支援 ② 警察・学校相互連絡制度の機能化

著者略歴

嶋崎 政男(しまざき まさお)

神田外語大学教授。東京都立大学心理学科卒業後、東京都立中学校教諭、東久留米市教育委員会指導主事、都立教育研究所学校教育相談研究室指導主事、杉並区立西宮中学校長、天沼中学校長、福生市教育委員会指導室長、立川市立立川第一中学校長等を経て、平成24年度より現職。日本学校教育相談学会会長・日本カウンセリング協議会副代表等を務める。著書は、『図解生徒指導』『少年殺人その原因と今後の対応』(学事出版)、『困った親への対応』『担任の救急箱』(ほんの森出版)、『学級崩壊と理不尽クレーム』(集英社)、『生徒指導の新しい視座』『法規+教育で考える 生徒指導ケース100』『三訂版 もうひとりで悩まない! 教師・親のための子ども相談機関利用ガイド』(ぎょうせい)など多数。

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール(通話料無料)
電話受付時間: 平日9時から17時

TEL: 0120-953-431
FAX: 0120-953-495



URL: <http://gyosei.jp>

キリトリ線

申込書	「脱いじめ」への処方箋		部
	A5判・定価2,300円(本体2,190円+税)送料290円 ※定価は5%税込価格です。 コード 5107923-00-000 いじめ処方箋		
	◎上記のとおり申し込みます。 御住所(〒 _____)		平成 ____年 ____月 ____日
	フリガナ 御氏名 _____		(社費・公費・私費)
e-mail _____		① TEL _____	
e-mail _____		② TEL _____	
e-mail _____		③ TEL _____	
e-mail _____		④ TEL _____	
e-mail _____		⑤ TEL _____	
e-mail _____		⑥ TEL _____	
e-mail _____		⑦ TEL _____	
e-mail _____		⑧ TEL _____	
e-mail _____		⑨ TEL _____	
e-mail _____		⑩ TEL _____	
e-mail _____		⑪ TEL _____	
e-mail _____		⑫ TEL _____	
e-mail _____		⑬ TEL _____	
e-mail _____		⑭ TEL _____	
e-mail _____		⑮ TEL _____	
e-mail _____		⑯ TEL _____	
e-mail _____		⑰ TEL _____	
e-mail _____		⑱ TEL _____	
e-mail _____		⑲ TEL _____	
e-mail _____		⑳ TEL _____	
e-mail _____		㉑ TEL _____	
e-mail _____		㉒ TEL _____	
e-mail _____		㉓ TEL _____	
e-mail _____		㉔ TEL _____	
e-mail _____		㉕ TEL _____	
e-mail _____		㉖ TEL _____	
e-mail _____		㉗ TEL _____	
e-mail _____		㉘ TEL _____	
e-mail _____		㉙ TEL _____	
e-mail _____		㉚ TEL _____	
e-mail _____		㉛ TEL _____	
e-mail _____		㉜ TEL _____	
e-mail _____		㉝ TEL _____	
e-mail _____		㉞ TEL _____	
e-mail _____		㉟ TEL _____	
e-mail _____		㊱ TEL _____	
e-mail _____		㊲ TEL _____	
e-mail _____		㊳ TEL _____	
e-mail _____		㊴ TEL _____	
e-mail _____		㊵ TEL _____	
e-mail _____		㊶ TEL _____	
e-mail _____		㊷ TEL _____	
e-mail _____		㊸ TEL _____	
e-mail _____		㊹ TEL _____	
e-mail _____		㊺ TEL _____	
e-mail _____		㊻ TEL _____	
e-mail _____		㊼ TEL _____	
e-mail _____		㊽ TEL _____	
e-mail _____		㊾ TEL _____	
e-mail _____		㊿ TEL _____	

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。

●取扱者



株式会社 **ぎょうせい**

本社 東京都中央区銀座7-4-12 104-0061
 本部 東京都江東区新木場1-18-11 136-8575
 TEL: 0120-953-431 / FAX: 0120-953-495

URL: <http://gyosei.jp>